

十三小学校研究推進便り

12月9日（水）、5時限目 第5回の研究授業。

4年 読書会を開こう

「世界一美しいぼくの村」 木村 葉子 学級

<研究授業参観に当たって>

今回は、シリーズ本を読んで「読書会を開こう」という言語活動を設定した学習です。全14時間の長い学習になります。教科書には、一作目の「世界一美しい村」と三作目の「世界一美しい村へ帰る」が掲載されていますが、二作目「ぼくの村にサーカスがきた」も入れて合計三作を読む活動になっています。とてもスケールの大きい学習展開の提案をさせていただきます。

<研究授業では、つぎの視点でみてください>

「読みの観点」の習得・活用、交流の場の工夫

- ① 三つの物語のつながりを見つける活動として「読みの観点」を生かすことができていたか。
- ② 交流の場は適切であったか。

単元構成の工夫（単元を貫く言語活動）

- ① 目標に迫るための活動として、適切であったか。

言語力・表現力を高める工夫

- ① 関連図書が生かされているか。
- ② 掲示物は適切か。

木村先生のつぶやき>

4年生の子どもたちは本の読み聞かせが大好きです。そんな子どもたちの、今後の読書活動により広がりや深まりをもたらしてくれることを願って今回の活動に取り組んでみました。

限られた時間の中でシリーズの作品を次々と読み進め、できるだけ読後の気づきを大切にしながら学習を進めてきました。さて、このシリーズを全て読み終えた子どもたちはいったいどんなことに気付くのでしょうか。

<授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果（ピンク）」「課題（黄）」「改善策（青）」に記入してください。

今回も、3班（1グループ4～5人）に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。